

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第31回史跡高松城跡石垣整備会議
開 催 日 時	令和元年12月9日(月) 10時00分～12時00分
開 催 場 所	玉藻公園 披雲閣 松の間
議 題	(1) 旭橋北側石垣解体修理工事について
公 開 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員	胡委員・北野委員・山中委員
傍 聴 者	3人
担当課及び連絡先	文化財課 823-2714

協議経過及び協議結果

会議を開会し、次の議題について報告し、下記の結果となった。

議題(1) 旭橋北側石垣解体修理工事について

(事務局) 今年度実施する石垣解体修理工事について、解体範囲及び施工方法を中心に提案を行った。

(委員) 解体範囲は妥当なものと考えられる。修理に当たっては、修理後の石垣の健全性と周囲の景観双方に留意して実施すること。

(委員) 構造体としての危険度は高いため、早急な対応が必要であるという点についても同意する。

(委員) 復元勾配については、石垣の改修の履歴を勘案し、再度検討すること。特に天端の反りについては、注意が必要である。

(委員) 栗石は堅牢に詰めるため、確実に手作業で実施することが望ましい。

(委員) 抜けた石材について、できる限りオリジナルの石材を再利用すること。その場合、多少張り出す等があってもオリジナルを優先すること。

(委員) ヌケが発生した石材の前面は、蛇籠等で養生してはいかかがか。

(委員) ヌケが発生した箇所前面の地盤の支持力を測定、推定して対策を検討することが望ましい。

(委員) 石垣の変形の主要因は、石材の形状等に起因した石積みの不安定性にあるものと推定される。背面の発掘調査で確認すること。

(委員) 対象となる石垣の広い面で、間詰石の点検と追加を実施すること。

(委員) 石垣上に生育している樹木の年輪等も記録すること。石垣の変遷を検証する材料となりうるため。

(事務局) 次回会議は、石垣解体が完了した段階で実施したい。